

# 成人看護学実習 I

2年生の臨地実習が学内プログラムとして行われました。

できる限り「リアルな臨床実習」になるように取り組みました。毎日登校することはできなかったけど、

オンラインでお互いにつながって、グループワークも白熱しました。



教室でのグループワークは  
お互いの距離を意識して…



受け持ち患者さんを理解するために「どんな勉強した?」「どんな資料みてる?」  
情報交換をしながら、患者さんの看護を考えました。

実習室では、患者さんの個性に合わせた援助を

試行錯誤しながら、練習しました。



洗髪中にも観察やコミュニケーション  
が大切ということがよくわかりました。



バイタルサイン測定も  
確認しながら行いました



先生に助けをもらいながら、練習しました。



今年度も様々な業者の方にご協力いただき、  
普段ではできない体験もさせていただくことができました。



事例の患者さんの状態に合わせて、酸素療法の演習では  
酸素ポンプの操作経験ができ、車椅子移送も外に出たり、  
エレベーターに乗ったり、「リアル」な演習ができました。



弾性ストッキングって、ムズカシイ…



温泉旅行に行きたい  
患者さんの思いを考  
えて、入浴剤を使った足浴  
をやってみました。



看護過程の展開は、まだまだ難しいですが、一人一人、大きく成長する  
ことができた、成人看護学実習 I でした。今年度の臨地実習はこれで終了です。

現在は4月からの新たな学校生活に向けて、2年生最後の「まとめ」に取り組んでいる2年生です。

